

## 教材・支援機器活用実践事例

### 【難聴の児童への分数×分数の学習支援】

子どもについて	学校・学級・学年	小学校 難聴特別支援学級 高学年	
	対象の障がい	聴覚障がい	
	授業形態	小集団学習	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<p>聴覚障がい（人工内耳、補聴器装用：最重度 100dB 以上） 言語発達遅滞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部分から全体へ、順序立ててなど継次的処理を得意とする。</li> <li>○ 事象をことばで説明したり、ことばに置き換えたりすることが苦手である。</li> <li>○ 当該学年の基礎的な学習内容を理解することを目指している。</li> </ul>	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	<p>パワーポイント デジタル教科書教材 （第6学年算数科「分数のかけ算」 環境 パソコン、プロジェクター、スクリーン</p>	<p>【画像】</p>
	活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 面積図を使って、分数×分数の計算の意味を理解し、ことばで説明することができる。</li> </ul>	
授業における支援・教材の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4/5や2/3毎に面積図を配布して色を塗らせて、分数の量的感覚を確認した。</li> <li>○ 穴あき文を提示して、ことばで説明できるようにした。</li> </ul>		
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 面積図を使って分数を表したことで、分数の数量の理解を促進することができた。</li> <li>○ 穴あき文を提示したことにより、ことばで計算の意味や手順を説明することができた。</li> </ul>		